



町文化祭の様子

動を行っている各社会教育団体の活動を引き続き支援してまいります。

久米島高校への支援については、「まちづくりプロジェクト」、「離島留学」、「町営塾および中学校まなびや」の3つの柱に沿った取り組みを充実させていくとともに、生徒や保護者だけでなく地域に対しても取り組み内容などについて、広報や啓発に努めてまいります。

文化振興については、町民が文化活動に親しめるよう、久米島町文化協会と連携を図りながら、関連行事の活性化を促進し、文化活動の充実と発展に努めてまいります。

文化財保護に関しては、久米の五枝のマツの松くい虫防除対策や、災害により毀損した宇江城城跡、具志川城跡の修復を進めるほか、伊敷索城跡についても調査を継続して取り組んでまいります。

生涯学習については、幅広い年代が参加できるように各種講座を開催し、町民ニーズに対応した学習機会の創出と充実に取り組んでまいります。また、地域文化やスポーツの向上、生活文化の振興を目的とした活

博物館では、収蔵資料の

保存管理をはじめ、各種展示会のほか、町民や児童生徒を対象とした講座や教室を開催し、歴史や文化に関する情報発信に努めてまいります。また、古文書の保存・活用につきましましては、過去に修復に成功した上江洲家の古文書が国の重要文化財に指定されました。まだ数多く存在する古文書の修復に向けて、引き続き取り組みでまいります。

町史編集については、現在「考古編」、「文献資料編」、「自然編」の3つの編集作業を行っています。引き続き、編集計画に基づいて調査および資料の収集を行い、刊行に向けて取り組んでまいります。

ホテル館では、豊かな自然環境を後世に遺すことを目的として、多くの皆様に島の貴重な自然環境について知り、学ぶ機会を提供してまいります。

公共事業の取り組み

公共事業については、地域経済の振興と地元企業の

育成を図るため、地元の企業で対応できるものは優先的に地元企業へ発注するよう努めてまいります。また、県発注工事についても同様の取り組みを行うよう要請してまいります。

町道整備については、大原ビーチ線、宇江城城址線および比嘉6号線の道路整備に引き続き取り組みます。計画的に進めている橋梁保全については、2橋の補修工事を行っています。

農業基盤整備に関しては、清水地区の水質保全対策事業を継続して取り組んでまいります。また、新規採択で進めている山城地区の法面崩落対策については、実施設計に取り組む予定です。

漁港整備については、補助事業の採択や漁業者の就業環境向上に努めてまいります。

さらに、激甚化・頻発化する自然災害に対応するための施設整備や、災害を未然に防止するための事業に

も取り組んでまいります。

次世代産業の誘致

次世代産業の誘致については、沖縄県が推進する海の恵みを利用した持続可能な社会経済開発「ブルーエコノミー」を先導する地域として、島の資源である海洋深層水を活用した新たな産業創出の展開が必要です。

令和5年度より、JICAの委託事業としてパラオでの久米島モデルの展開に向けた調査が開始され、昨年11月には国連気候変動枠組条約締結国会議（COP29）のジャパン・パビリオンにおいて、JICAの取り組みを紹介するブースで「久米島モデル」の動画が放映されるなど、「久米島モデル」のプレゼンスが向上しています。

引き続き、久米島海洋深層水活用全体計画を基に、海洋深層水をクリーンエネルギーの供給や食糧・水の生産に複合的に活用する持続可能な島嶼コミュニティ「久米島モデル」の実現に